

水リスクと企業



グローバルウオーター・ジャパン代表
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就

▶12

4月11日、中国甘肅省の省都・蘭州市で大規模な有毒水道水事件が発生した。市民240万人に水道水の飲用禁止の命令が発せられた。

12日付の中国各紙によると、蘭州市は11日、水道水から国の飲料水基準値の20倍に達する有害物質ベンゼンが検出されたと公表、市民がペットボトル入り飲料水の買い占めに走るなどパニックに陥った。さらに、水道水供給企業は10日夕方に基準値を超えていたことを把握していたが、公表までに約18時間を要したことも批判が集中した。

中国・蘭州の有毒水道水事件

市民からは市当局と民間企業の「隠ぺい体質」を指摘する声が上がった。この結果、スーパーマーケットなどでは多数の市民が飲料水を買いために、値段が大きく上り上がった。40円のボトルが1600円まで暴騰した

ヴェオリア社による中国での主な上下水道事業

地方名	事業分野	合併相手	契約方式
蘭州	上水道 (事業運営)	蘭州供水公司	BOT (30年)
成都	上水道 (飲用水供給)	丸紅	BOT (18年)
上海浦東新区	上水道 (事業運営)	浦東自來水公司	TOT (50年)
天津	上水道 (事業運営)	天津北自來水公司	BOT (30年)
北京市盧溝橋	汚水処理	北京排水集團	TOT (20年)
青島	汚水処理	青島市排水公司	TOT (25年)
珠海	汚水処理	-	BOT (30年)

*BOT(建設、運営、譲渡)方式、TOT(運営権の譲渡を受け運営、一定期間後譲渡)

出典)ヴェオリア社のウェブサイトより(2011年)

ベンゼン検出後、ヴェオリア合併企業は取水を停止し、浄水処理プロセスにベンゼンを吸着する活性炭を投入している。しかしながら蘭州市はもろろんのこと、ヴェオリア社にも市民の怒りの矛先が向けられている。ネット上では「フランス企業は中国国民を軽んじている」「ヴェオリア社が経営してから値上げが多くなった」などと書き込まれているが、これは理不尽とも思える。

現在中国の上下水道民営化市場では、北京首創(キャピタル)、北控水務などが日量1千万ト以上の給排水能力、桑德集団、中法水務などは同5

は、蘭州供水会社の運営。この企業は2007年に仏ヴェオリア社と地元企業との合併で設立

10日夕方にベンゼン濃度が118マイクログラムに達し、翌日未明には基準値の20倍に当たる200マイクログラムに上昇。同日午前11時に事実が報道され、市政府は今後24時間、安全が確認されるまで水道水を飲まないよう市民に呼び掛けた。

事実関係

報道規制の強い中国であるが、今回の事件は市民生活に密着していたため詳しく報じられた。

蘭州市の袁占亭市長は

この結果、スーパーマーケットなどでは多数の市民が飲料水を買いために、値段が大きく上り上がった。40円のボトルが1600円まで暴騰した

供給停止を解除したと報じている。中国では、強い発がん性が指摘されるベンゼンの基準値は国際基準と同じで、その副生成物は

ベンゼン検出で飲用禁止に 安全な水求め240万人パニック

蘭州供水公司

発がん性(腫瘍生成能力)が高い。発がん性のあるベンゼンが検出された浄水場

れ、蘭州市と30年間のコンセッション契約で運営管理されている。給水量は138万トで、満の矛先を海外企業に向けるのは中国の常套手段である。

00万トの能力を持ち、やはり値上げを繰り返している。国民や市民の不満、さらに今回取り上げた重大な水質汚染問題に直面しており、国を挙げての対策が待たれる。

水質汚染問題についての警鐘

水質汚染の問題について、海外のみならず中国国内の専門家や組織からも繰り返し警鐘が鳴らされている。今年1月、中国水利部の胡四一副部長は「中国の河川のうち、深刻な汚染を受けている割合は40%以上、750億トもの廃水や汚水が直接河川に放流されている。さらに400万ト以上の農地が汚染水によって灌漑されており、農作物の収穫量や品質、安全性に悪影響を与えている」と述べている。今年2月には、環境保護省の青次官が記者会見で「中国の川や地下水への汚染物質は環境許容量をはるかに超えており、深刻な水質汚染に直面」と述べている。さらに3月、環境保護省は「中国全土で2億8千万人の飲料水に安全上の問題がある」と、環境汚染に関する初の研究結果を公表している。中国はPM2.5に代表される大気汚染問題、さらに今回取り上げた重大な水質汚染問題に直面しており、国を挙げての対策が待たれる。